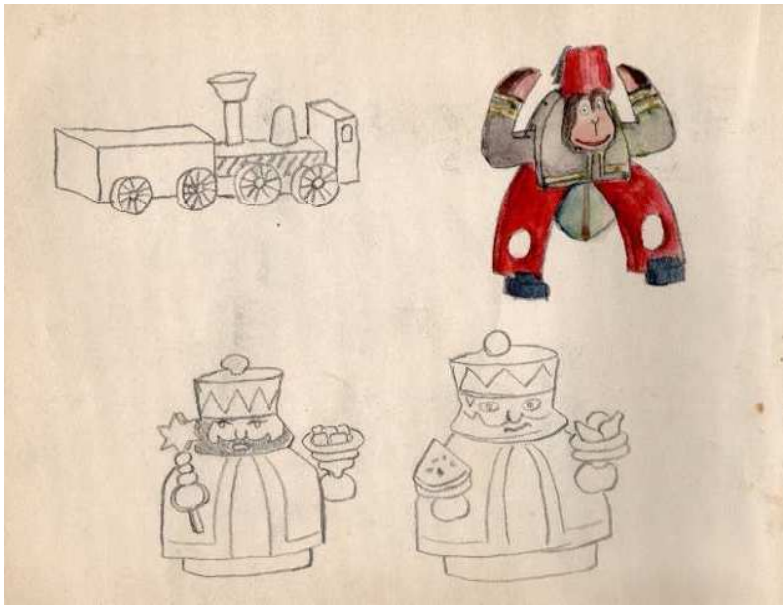




新収蔵品

安宅安五郎の画帖「世界玩具」 と 世界の玩具（おもちゃ）

2026年1月24日（土）～3月29日（日）

・ギャラリートーク 2月21日（土）10:00～11:00

◆開館時間／9:00～16:00

◆休館日／毎週月曜日（祝日の場合はその翌日休館）、祝日の翌日

◆入館料／一般 650 円、小中学生 390 円

[団体（20 名以上）一般 520 円、小中学生 260 円]

※小中学生は土・日・祝日 無料

◆主催／西蒲区文化施設を運営する市民の会、新潟市



新潟市 潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館

〒959-0505 新潟市西蒲区三方 92 TEL.0256-86-3444



交通／JR 新潟駅より 新潟交通バス：大野・ふるさと村経由
潟東営業所行、潟東営業所よりタクシー 5 分
JR 越後曽根駅よりタクシー 15 分

新収蔵の安宅安五郎《画帖「世界玩具」》の公開にあわせて、古今東西の玩具（おもちゃ）を一堂に展示します。日暮らしの友として長く愛玩、愛用されてきたモノたちの静かな“つぶやき”に耳を傾けて、様々な時代や風土で営まれた人々の生活に想像を巡らせていただけたら幸いです。

（※展示は樋口記念美術館 2 階）



フランス人形（ブルターニュ地方の民族衣装）

■安宅安五郎（あたく・やすごろう／1883-1960）

新潟市生まれ。1910 年東京美術学校西洋画科を卒業。同年の第 4 回文展に《靴屋》が初入選、文部省買上げとなる。1919 年第 1 回帝展で《白蓮樹》、翌年第 2 回展で《砂丘に立つ子供》が特選となり、同展無鑑査となる。1921 年より一年間欧州各地を遊学。1928 年聖徳記念絵画館（明治神宮外苑）の壁画《教育勅語下賜》を制作。主に官展を舞台に活躍する一方、戦前の旧新潟県展の開催を支援するなど、故郷の美術振興にも尽力した。縁戚には、尾竹越堂（画家／義父）、富本憲吉（陶芸家／義兄）、森鷗外（文学者／長女義父）、武者小路実篤（文学者／三男義父）、安宅帛雄（画家／甥）、長谷川秋一郎（画家／甥）など文芸家が多い。



以下の展示もあわせてご覧ください。

◆おひなさま展

（歴史民俗資料館 1 階／樋口記念美術館 1 階）

・おひなさまトーク

① 2 月 28 日（土）10:00～11:00

② 3 月 1 日（日）10:00～11:00

川上 徹さん（越後おひなさま保存研究会）

③ 3 月 7 日（土）10:00～11:00

平野礼子さん（越後おひなさま保存研究会）



《古今雛》

◆戦没画家・金子孝信作品の常設展示

（樋口記念美術館 2 階）



《雪景》1937 年

◆考古・歴史・民俗資料の常設展示

（歴史民俗資料館 2 階）

